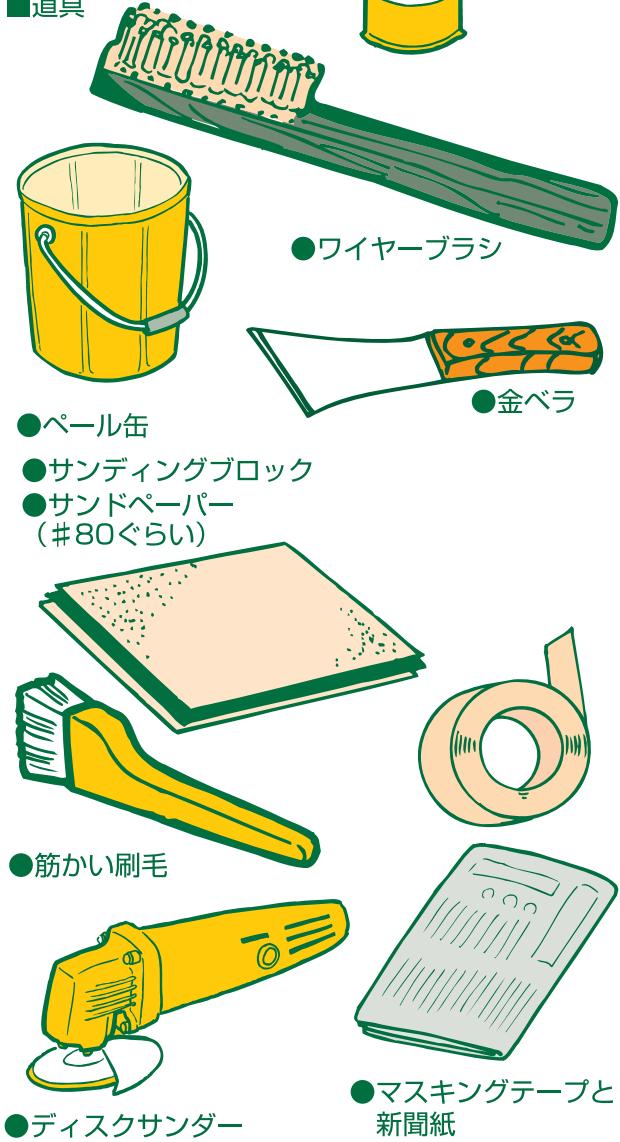


用意する物

- 材料
 - サビ止め塗料
 - 水性塗料
 - 油性塗料
 - ペイントうすめ液
(油性塗料を使う場合)

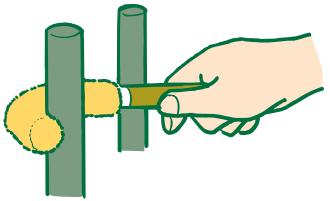
道具



ここがポイント!

- 塗るものに合わせた道具を使いましょう。

・パイプや棒状のものや狭い
すき間は自在に曲げられる
カーブブラシで。



・ネットフェンスは毛足の長い
モケットローラーバケで。



- サビ止め塗料と鉄部用塗料の相性

・水性のサビ止め塗料を塗った場合は必ず水性の鉄部用塗料を、
逆に油性のサビ止め塗料を塗った場合は油性の鉄部用塗料を使
いましょう。

サービスのご案内



●クレジットもご利用になれます。



制作発行／株式会社セキチュー 販売促進部
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1

TEL.027-345-1111(大代表)

©無断転載は禁止します

門扉やフェンスの塗り替え

自分でやってみよう!

How To D.I.Y

5



せっかくの門扉やフェンス、ベランダ、鉄格子
も、塗装がはげてきたり、サビが点々と浮いて
いたりすると、住んでいる人だけでなく、訪れる
人にも感じの悪いものです。早く塗り替えましょう。
まだ早いと思っても、手でさわってみて白い粉がつ
くようでしたら、塗り替え時期です。
3~4年ごとに塗り替えると長持ちします。

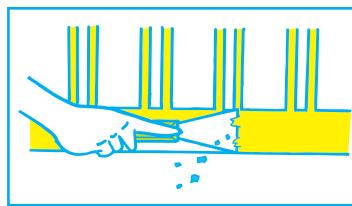
Do it Yourself & Save

上手な塗装の仕方



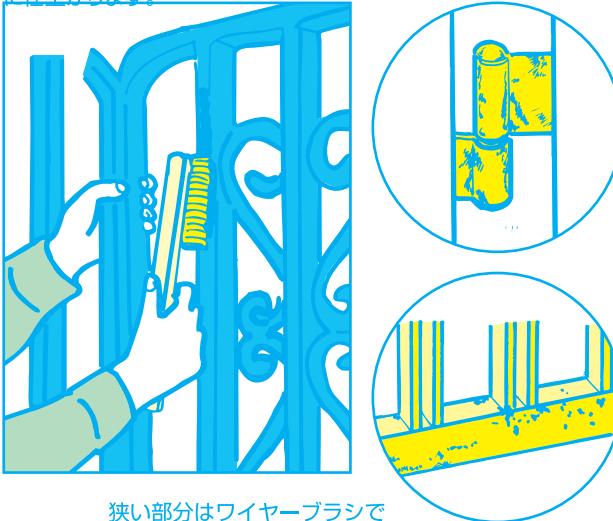
1 古い塗料をはがします。

金ベラやワイヤーブラシで、古くてボロボロとはがれかかっている塗料の膜ができるだけはがして下さい。



2 サビを充分に落とします。

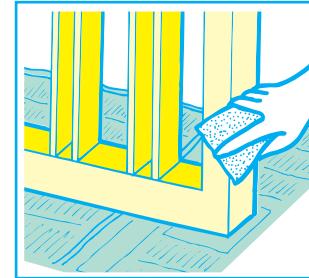
サビが浮いているところやその周囲はワイヤーブラシや金ベラでよくこすり落として下さい。その後サンドペーパーでさらに磨きます。特に残っている塗料の膜とサビのある部分に段差があるところはサンドペーパーで磨いておくと、新しい塗料を塗ってもきれいに仕上ります。



狭い部分はワイヤーブラシで

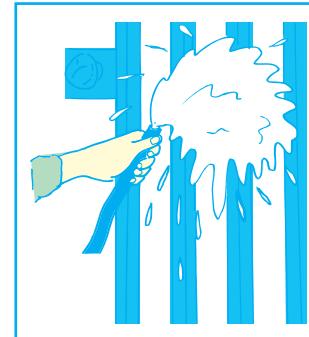
3 サンドペーパーで磨きます。

80~100番のサンドペーパーをサンディングブロックか木片にまきつけて、サビを落したい部分を鉄の地肌が見えるまで磨いて下さい。さらにその他全体の表面を荒磨きして、ペンキがよくつくようにしておきましょう。



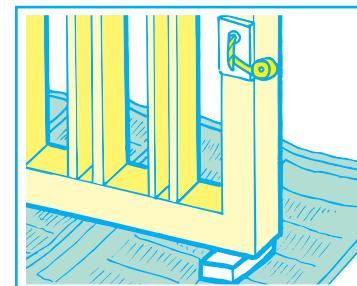
4 汚れを落とします。

汚れた部分だけでなく全体をよく水で洗い流し、汚れを落とします。水性塗料の場合なら乾燥させなくてもこの状態から塗りはじめられます。



5 マスキングします。

塗料がついたら困る部分はマスキングしておきましょう。門柱や地面、ブロックなどは新聞紙でおおい、樹木は縛ってさらに新聞紙でおおいましょう。



6 サビ止めします。

サビを落とした部分には筋かい刷毛でサビ止め塗料を必ず塗りましょう。



7 筋かい刷毛でていねいに塗りましょう。

サビ止め塗料が充分に乾いてから塗装します。初めは塗りにくいところから塗ります。1回目の塗装が終わったら乾くのを待って、2回目を塗ります。一度に厚く塗るとしづができたり、ムラができるので必ず薄く2回塗りをしましょう。塗り終えたらさわられる可能性があるので、ペンキ塗りたての札を下げておくといいでしょう。

